

# 公立学校への支援の充実について

近畿ブロック知事会

令和8年8月

## 公立学校への支援の充実について

いわゆる「高校無償化」により、多くの生徒にとって私立高校への進学がより大きな選択肢となると予測されることから、公立高校離れや小規模高校の再編統合が加速し、地方の高校教育の衰退を招く恐れがあるため、公立高校も選ばれる学校としての魅力づくりが喫緊の課題である。

一方、近年の深刻な気温上昇に伴い、公立学校では夏期の空調稼働日数や時間数が年々増加していることに加え、料金単価の高騰も重なり、空調にかかる光熱費が県財政の大きな負担になっている。

また、学校施設の多くは、児童生徒数の急増期に整備されたため、老朽化が進む中で、一斉に改築・改修の時期を迎えており、施設整備の需要が増大している。このような中で、令和7年度補正予算において、高等学校教育改革促進基金が措置され、加えて令和8年度の地方財政計画において、高等学校教育改革等推進事業債の創設がなされたが、いずれも高等学校教育改革実行計画に基づき実施する一部の事業が対象となっており、公立高校に対する財政支援制度が未だ十分とは言えない。

公立高校の教育環境の維持に必要な財源の確保は重要であることから、下記のとおり提言する。

### 記

1 近年の深刻な気温上昇による影響を踏まえ、公立高校の空調光熱費の需要増に対する財政措置を拡充すること。

2 高等学校教育改革促進基金及び高等学校教育改革等推進事業債について、より現場のニーズに即した運用ができるよう、要件の緩和、対象の拡充を図ること。

また、高校教育改革を加速化し、「生徒に選ばれる学校づくり」を後押しするため、「高等学校教育改革交付金（仮称）」等の新たな財政支援の仕組みの構築にあたっては、ハード・ソフト一体での柔軟かつ持続的な制度設計とすること。

令和8年8月

近畿ブロック知事会

|        |   |    |   |   |
|--------|---|----|---|---|
| 福井県知事  | 石 | 田  | 嵩 | 人 |
| 三重県知事  | 一 | 見  | 勝 | 之 |
| 滋賀県知事  | 三 | 日月 | 大 | 造 |
| 京都府知事  | 西 | 脇  | 隆 | 俊 |
| 大阪府知事  | 吉 | 村  | 洋 | 文 |
| 兵庫県知事  | 齋 | 藤  | 元 | 彦 |
| 奈良県知事  | 山 | 下  |   | 真 |
| 和歌山県知事 | 宮 | 崎  |   | 泉 |
| 鳥取県知事  | 平 | 井  | 伸 | 治 |
| 徳島県知事  | 後 | 藤田 | 正 | 純 |